

令和5年度 第2回定例庁議 議事報告

開催日時：令和5年5月11日（木）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

【進行：政策課長】

1 開会

2 市長あいさつ

初夏を迎え、様々なスポーツ大会が開催されており、職員が笛吹市の代表として参加することがあると思う。

業務が忙しいことは承知しているが、大会に参加する職員が市の代表として気兼ねなく参加し、存分に活躍できるよう、各所属において配慮してほしい。

3 協議・報告事項（議長：副市長）

(1) 令和5年度の総合防災訓練の実施について（総務部）

説明：総務部長

【説明内容】

資料に沿って説明（防災危機管理課長、防災担当課長補佐）

【質問意見等】

（保健福祉部長）

マイ・タイムラインの作成が終了している家庭はどの程度あるのか。参考に教えてほしい。

（防災担当 課長補佐）

詳細な数字は把握していないが、行政区や団体等に対して、マイ・タイムラインの作成に関する出前学習会をこれまでに20回程度開催しており、多くはその場でマイ・タイムラインを作成している。そのことを踏まえる

と、ある程度は作成が進んでいるものと思う。

今後とも出前学習会や訓練等の機会を活用し、マイ・タイムラインの作成を促進していく。

(2) 芦川地域における土砂災害訓練について（総務部）

説明：総務部長

【説明内容】

資料に沿って説明（防災危機管理課長、防災担当課長補佐）

【質問意見等】

（保健福祉部長）

対応策に「芦川は大丈夫という地域住民の思い込みの見直しを図る」とあるが、どのような状況なのか詳しく教えてほしい。

（防災担当 課長補佐）

芦川地域の住民には、過去に避難勧告が発令されている状況下にあっても「私の家は大丈夫」、「私は逃げずに家に留まる」といった判断をされる方が多くいたと聞いている。これは、危険な状況であってもそれを危険なものとして判断せず、状況を過小評価してしまう「正常性バイアス」と言われる心理のことで、災害時には避難の妨げになってしまう。

このため、芦川地域の方々に対し、土砂災害警戒区域のエリア等をしっかりと説明し、早期避難の大切さを改めて認識していただいた上で、地区防災計画の作成を進めていきたいと考えている。

（教育長）

芦川地域における第1回ワークショップには、学校の職員も参加するの
か。

（防災担当 課長補佐）

ワークショップのメンバーは、区役員や消防団員、民生委員、防災に関心があり地域の中で自主防災組織として防災活動されている方などを対象としており、学校職員は対象にしていない。

(3) 令和3年度財務書類について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（財政課長）

【質問意見等】

質問意見なし

- (4) 既存社会体育施設を専門性の高い施設とするための基本的な考え方について（教育委員会）

説明：教育部長

【説明内容】

資料に沿って説明（生涯学習課長）

【質問意見等】

（保健福祉部長）

概要書に「市のスポーツ協会などからは、総合運動公園の整備も要望されている」との記載があるが、総合運動公園は整備せず、既存の社会体育施設を有効活用していく方針ということか。

（総務部長）

関連した内容であるため、併せて意見を述べる。

たしか、既存の社会体育施設に専門性を持たせて、市全体を総合運動公園に見立てる構想だったと理解しているが、その考え方をたたき台の中に記載した方が分かりやすいと思う。

（生涯学習課長）

多目的芝生グラウンド整備基本計画策定の検討当時から、総合運動公園を整備することは財政負担が大きく難しいという考えがあった。

議会や多目的芝生グラウンド整備基本計画の策定に向けた市民との意見交換会などでは、既存社会体育施設を専門性の高い施設に変えていくことで、市全体を一つの総合運動公園として見立てることもできるということを示してきた。

今回のたたき台は、そのような考え方を踏まえて作成した。

(副市長)

いま説明のあった内容は、たたき台の中に記載してあるか。

(生涯学習課長)

記載していない。

(副市長)

市全体を総合運動公園に見立てるという考え方は、これまで本件に関わってきた人には、その考えが根幹にあることが分かるが、初めてたたき台を見る人には分からないと思う。

当該部分の記載を加えた方がよいのではないか。

(市長)

考え方が分かるように追記すること。

(生涯学習課長)

承知した。

(議会事務局長)

個別施設計画の策定から数年しか経過しておらず、個別施設計画における施設の方向性を大きく変更する場合には、しっかりした説明が必要になると思う。

(生涯学習課長)

基本的には個別施設計画と整合性を図りながらたたき台を作成したが、個別施設計画の策定時には、専門性を高めていくという考えはなかった。

今後、たたき台を基に施設利用者の意見などを聞きながら、教育委員会やスポーツ推進審議会などで協議を行い、内容が固まってきた段階で、個別施設計画の変更が必要なものについては変更していく予定である。

(建設部長)

部活動の地域移行を見据えた取組とのことだが、吹奏楽部など文化部への対応は、現時点でどのように考えているか。

(生涯学習課長)

たたき台は、社会体育施設に焦点を絞り、専門性を高めるための今後の

施設整備の考え方を示しているが、当然、部活動の地域移行は体育部だけでなく、文化部も対象となる。文化部への対応は、今後、教育委員会において部活動の地域移行への対応を検討する中で、たたき台とは別に考えていく。

4 その他

※令和5年度第3回定例庁議

6月8日（木） 午後1時15分～ 本館3階302会議室

※令和5年笛吹市議会第2回定例会 一般質問答弁検討日程

6月13日（火）午前、14日（水）、15日（木）終日、16日（金）午前

5 閉会

午後2時20分閉会